



おり絞込みが必要であると考えており、会員の利益に繋がるような組織作りを行うことが重要と考えている。

## 中国・四国ブロック

①会員が減少しているなかで、過去と同様に事業展開することが経費的にできなくなってしまう。思っている。また、理事の人数も。

②部会の担当理事は必要と思われるが、委員会の担当理事は必要ないのではないか。

③四国ブロック内の会員が10名と減少しており、各県に支部を設置する必要があるのか。中国・四国ブロック四国支部もいいのではないかとの意見があつた。この意見に対して、①委員会担当理事については委員会とのパイプ役として配置しているが、理事の削減とあわせて理事会において検討してみたい。②支部の設置についてはブロックにおいて検討願いたい。

①会員減少の中、部会組織や委員会活動等が増えすぎて役員の選出も困難な状況にある。役員に負担がかかることもある。

## 九州ブロック



林水産省農村振興局の管轄になることから、市町村に相談いただきたい。各ブロックから以上の

うなようにならないか。が厳しくなっているので、統廃合を図り、スリムな活動やすい組織へ。③5年先、10年先の植木協会を見据えて役員や活動を考えほしい。④会員減少に歯止めがかからないが、何か対策を考えているのか。⑤樹木の役割や大きさを教えられる雑学を作成した

うな要望・意見があつたが、特に、組織の見直しについては共通の認識として捉えられており、会議の中でこの問題について意見交換を行った。その結果と

して委員会の統廃合を含め組織の見直しを図るべきで、このことから、理事会において早急に検討を行いスリム化を図ることとした。

## 2. 部会の要望・意見

## コンテナ部会

部会では「ぱっと見ガイド病害虫編」の第2弾として「桜品種ガイド」を作成しており、10月には完成する予定となっている。また、昨今の外国人観光客の花見人気を踏まえ、英語版、中国語版の作成もした。これらに対する助成をお願いだされた。この要望に對して、作成にあたっての助成を行っていることもあり、新たな助成については難しいと考えている。

## 庭園樹部会

①名木認定について、このところ申請数が少なくなっています。②特選庭園樹木が平成6年に発刊以降、発刊されていないことから、希望がある。③これまで、緑出前授業用の教本を作成しているが、必要であれば検討したい。④圃場における獣害については農林水産省農村振興局の管轄になることから、市町村に相談いただきたい。

各ブロックから以上の

10名を超える入部者があつたことから、引き続き働きかけを行っていきたい。

## 3. 平成31年度通常総会

(愛知県)について 清水関東・甲信越ブロック長から、令和2年度通常総会(創立50周年記念全国大会)を1月24日(金)に東京都千代田区のホテルグランドアーヴ半蔵門を会場として準備を進めているとの報告があつた。

これまでの働きかけにより、エリア委員会を設置して、エリア理事のほかに各部会代表を加えたメンバーで年数回開催し、会員減少に歯止めをかける具体的な手法を模索してもらいたいとの要望があつた。この要望に対し、①副賞代にかかる協会納入については、減免を頭に検討したい。②部会が設置した「ビジョン検討」で、各支部から候補者の推薦を願いたい。

②労働安全衛生規則が改正され、チエーンソーを使用する場合の下肢防護衣の着用と特別教育が義務化

用を推奨する目的で品種の同定調査を実施しました。各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一  
が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

青葉赤花、赤葉赤花の

る品種について、協会が活

用を推奨する目的で品種の

同定調査を実施しました。

各社園から拠出していた

大半は平成27年4月より都農

園センターの赤土客土園

は、小平純一

が選定されました。

紅赤花2品種

は、尾上信行。濃

## 大切なお知らせ 労働安全衛生規則の一部改正について

平成31年2月12日付で労働安全衛生規則の一部が改正されました。内容について  
(一社)林業機械化協会より資料の提供を受けましたのでお知らせ致します。

### 伐木作業等の労働安全衛生規則の一部が改正

#### チェーンソーによる伐木作業等

施行日 令和元年8月1日

伐木等の業務に係る特別教育

施行日 令和2年8月1日



### 防護衣の着用が義務化

事業者は、チェーンソーを用いて行う伐木の作業又は造材の作業を行うときは、労働者の下肢とチェーンソーのソーチェーンとの接触による危険を防止するため、当該作業に従事する労働者に下肢の切創防止用保護衣(次項において「保護衣」という。)を着用させなければならない。また、作業に従事する労働者は、保護衣を着用しなければならない。と義務化されました。

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

## TEATIME 青少年育成 老体に鞭打!



石川 剛 (石川園・東京都)

ティータイムって事なので、ちょっと緑の事から離れて違うことを書かせていただきます。私は幼少期から剣道を習っておりました。当時は習うっていうより行かされていた方が正しいかもしれません。中学になって学校には剣道部がなかったので地元の警察署に通うことになってから剣道に対する気持ちが変わりました。当時は許されたものの今だったら体罰だのパワハラだのきっと騒ぐ位の稽古でしたが、それがあつて今の自分の剣道があると信じております。その先生とは



恩師と思い今でもお付き合いを続けさせてもらっております。高校卒業まで毎日のように稽古をし、就職してからは試合に出され試合が練習替わりになってしまいました。審査からも当然遠ざかり四段を取るにも練習しないし、剣道具を注文すればきっとやるだろう・・・しかし練習やらず。手元に届けば・・・やっぱりやらず仕舞い。審査1か月前にやっと始めて当然不合格。さぼり癖の付いた体を元に戻すには簡単ではありませんでした。色々な先生に指導してもらうのも

いいですが一人の先生に徹底的に直され2回目で合格、五段も一発合格出来ました。しかし次の六段審査では今までの剣道では通用しませんでした。改めて基本に戻り竹刀の振り方から改善して現在は何とか練士六段を頂きました。年に2回開催される指導者講習会にも参加していますが、改めて剣道や日本剣道形の奥深さを感じております。

福島県の藤田真人先生(株グリーンラボ)と植木協会情報検討委員会と一緒に役員を務めさせてもらい、一緒に稽古することはなかなか実現できませんが、協会員の中で剣道経験者がいるようであればみんなと一緒に汗を流してみたいね、なんてお話をさせていただきました。藤田先生には他のもくろみがあるようですが、今回はまだ水面下の話ということにさせてもらいましょう。

本業の傍らで、所属剣道会の青少年の指導、体育協会のジュニア育成推進事業剣道教室の主任指導員、母校の中学校で剣道部の外部指導員を務めさせてもらい、青少年の育成に老体に鞭打っております。4月からは試験的に所属剣道会の保護者を対象に日本剣道形と木刀による剣道基本技稽古法を教えております。

お前仕事してるの?と言われそうですが、ちゃんと本業もしていますよ!



毎週夕方に児童に指導

## 日本列島植木植物園

ナショナルプランツコレクション\*

### 自然界からの贈り物 シロモジ・イヌガシ

自然界を約40年間歩み、その歩みの中、自然林の生態系が非常に面白く、毎度大発見があり、驚きがあります。

海岸線の波打ち際から砂地、草原の大地、山々の谷間から山頂までの植物の美しさにその都度感動します。特に柳と桜の種の分布には、湿地から乾燥のはげしいところ、あるいは標高差により、多くのそれらの種の自生がみられます。

柳類に関しては、高木系に低木系、芽の大きさから色合い、様々な美しさを誇る多種多様な樹木です。桜にしても同様です。

自然界で可憐な花を咲き誇っていたエビネラン、この植物は多くが盗掘され、限られた場所にしか自生が見当たりません。非常に残念な事です。

次に残念な事は、文化財樹木です。代表的なものは、屋久島の杉です。全国的に、この様な残念な樹木、植物は大変多いものです。自然界の中で他の植物(草本類、木本類)と共生共存しながら自然界の恵みの中で、500年3000年と共生していた環境が、人間の生活や経済活動のため振り回され、周りの植物、動物、微生物、そのうえ菌類まで排除され、宇宙の輪廻の世界が壊されてしまう状況です。

今後この様な植物・生物はどうやって生きていくのでしょうか…?非常に残念な事です。

海岸から丘、山々の山頂を歩き廻り見てきたことで、その環境に適した植物、樹木が生育していることが分かります。また、その植物群から昔の歴史を学び得ることもできます。例えば福岡県の太宰府天満宮の裏山の自然の山々には、海岸線特有の植物が残存生育しており、大昔は太宰府まで海岸が近かった事などの歴史がうかがえます。

また、有明海近くの福岡県柳川、大川付近では、地下1~2m穴を掘ると海水が湧き水として滲み出し滞水します。その様な長い年月の歴史の中、その環境に応じた動・植物が生息、自生しているようです。

自然散策の中で、時折素晴らしい樹木に出会うことがあります。ある時は、北九州の小高い山中で、どの図鑑にも掲載のない常緑高木と出会いがありました。様相はモチノキ系タイプの樹木です。また、温暖な山々の標高150~250mに分布するイヌガシとも出会い、春先に花開く赤い小さな群花に心ときめきを覚えました。

福岡県 (有)総合緑化コガキュー 古賀隆博 0943-75-5170

山中の標高300~1200m位に自生するシロモジの黄色の群花にも、心癒される3月中旬のひと時です。

この様に自然の中には、沢山の緑や花の数々があり、私たちの未知数の癒しが一杯です。

イヌガシ  
(クスノキ科シロダモ属)  
*Neolitsea aciculata*



シロモジ  
(クスノキ科クロモジ属)  
*Lindera triloba*



## 特集 どこまできわめる

株式会社 アスコット  
若林芳樹

タイトルの『どこまできわめる』は、日本緑化工学会誌のコラム『緑化植物・どこまできわめる』から引用させていただいたもので、独立行政法人農業環境技術研究所の水口亜樹氏が、チガヤの分類についてコラムに書かれた文章を読ませていただき、引用させていただくことを決めました。水口氏は私達が何気なく見ているチガヤについて、開花期と開花稈の節毛の有無等の違いにより『ケナシチガヤ』と『フシゲチガヤ』の2種に見極め、その分布に違いがあるので緑化工の施工にあたっては地域性への配慮が必要との意見を述べられています。

弊社では樹名札の制作が大きな業務の一つであり、日本全国から注文をいただいて制作していますが、業務を遂行していく中で『どこまできわめる』のかで、迷うことがあります。今回はそんな迷いの中できわめて行くことにより明らかになったティカカズラ類についてご紹介します。

ティカカズラ類は幼若株と成熟株で生育形態が異なり、一般的には幼若株は平面緑化や下垂緑化に、成熟株は立面緑化に利用します。特に成熟株はフェンスなどへの巻きつき緑化、コンクリート壁などへの着生緑化の2つの異なる立面への利用が可能であり、常緑で香りの良い花も楽しめるなど、多岐な利用が可能な緑化植物です。

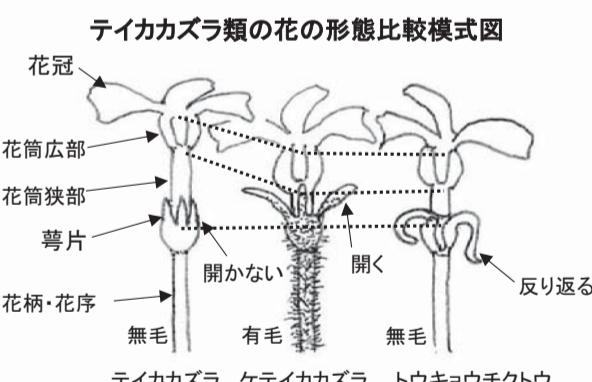
国内でよく利用されるティカカズラ類は、基本種の本州以南に自生するティカカズラ *Trachelospermum asiaticum* と近畿以西に自生するケティカカズラ *Trachelospermum jasminoides* var. *pubescens* の2種、国内に自生の見られないトウキヨウチクトウ *Trachelospermum jasminoides* var. *jasminoides* (一般的にはトウティカと呼ばれることが多い) の1種が流通しているようです。また、園芸品種としては幼若株のハツユキカズラ、ニシキティカ、オウゴンニシキなどの斑入り葉の美しい品種やピンク色の花をつける成熟株の桃色ティカカズラなどが多く利用されています。

これらの種・品種の違いを『みきわめた』のが上町あずさ・下村孝氏で、日本緑化工学会誌、J.Jpn.Soc.Reveget.Tech.,33(1),105-110 (2007) に『ティカカズラ属数種の花の形態による同定の試み』が掲載され、2009年には同じ日本緑化工学会誌に『緑化用および鑑賞用植物として流通しているティカカズラ属 (*Trachelospermum* Lem.) 園芸品種の分類』などの論文が掲載されました。

一般名のティカカズラやそれぞれの園芸品種名で、あいまいなままで流通している多くのティカカズラ類を広く収集して調査し、その違いから系統を明らかにされた功績は大きなものがあります。しかし、現状ではまだその違いを受けて正しい名前で流通させているとは言い切れない部分があります。

樹名札には和名の他に学名が併記されることが多く、ティカカズラ、ケティカカズラ、トウキヨウチクトウは一般名のティカカズラではなく、それぞれ区分して制作する必要があります。また、ハツユキカズラ、ニシキティカ、オウゴンニシキなどの園芸品種は、上町あずさ・下村孝氏の論文によるといずれもケティカカズラの品種であり、学名は *Trachelospermum jasminoides* var. *pubescens* の園芸品種としなければなりません。また同様に、桃色ティカカズラはティカカズラの品種であり、学名は *Trachelospermum asiaticum* の園芸品種とする必要があります。

上町あずさ・下村孝氏は、花や葉について区分方法を詳細に述べています。一番わかり易い区分は花による区分で、幼若株では開花しない場合が多いので



①ティカカズラ（基本種）



②ケティカカズラ（基本種）



③トウキヨウチクトウ（基本種）



④ティカカズラ  
(伊豆諸島などに見られる大葉系)



⑤ティカカズラの園芸品種（桃花）



⑥ティカカズラの斑入り品種（ハツユキカズラの斑に非常に似ている）



⑦ハツユキカズラ  
(ケティカカズラの園芸品種)



⑧ニシキティカ  
(ケティカカズラの園芸品種)

花の確認は困難ですが、私の撮影した花の写真を掲載しますので、花の形態比較模式図を参考に見極めてみてください。区分のポイントとしては、花筒（花筒広部と花筒狭部）の長さ、萼片の形、毛の有無、薬の位置などの違いを比べて同定することになります（花の形態比較模式図参照）。

ティカカズラ類には多くの異名同種や同名異種などの混乱が見られることから種・品種名の確定は困難な場合が多いので、平成23年度から平成26年度にかけて協会の学術委員会によって実施されたマサキの呼称整理に準じて、ティカカズラ類についても同様な調査を行い、生産、設計、施工の各分野で統一された名称で緑化工事が行われるようにすることを願っています。

本原稿の執筆にあたっては、上記しました日本緑化工学会誌の上町あずさ・下村孝氏の論文を参考にさせていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。また、論文の詳細について興味のある方は、日本緑化工学のホームページをご覧ください。

### コンテナ農場(100万本生産)



### (株)瀬戸内園芸センター

愛媛県今治市旦甲248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187  
<http://www.setoen.com/> E-mail : setouchi@setoen.com

#### 主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類  
カシ類 クスノキ タブノキ  
モチノキ ウバメガシ オリーブ  
カクレミノ クロガネモチ  
サンゴジュ シマトネリコ  
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ  
レッドロビン オウゴンマサキ  
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ  
シャリンバイ ツツジ類 トベラ  
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類  
サクラ類 イロハモジ ハナモモなど

連載

## 植木よもやも話⑦

東京農業大学非常勤講師 濱野周泰



## 濱野周泰プロフィール

東京農業大学農学部造園学科卒業、東京農業大学非常勤講師、博士(生物環境調節学)、社会資本整備検討会道路技術委員会道路緑化技術部会長として道路緑化技術基準の改訂。特定外来生物等分類群専門家グループ(植物)委員、第二次明治神宮境内総合調査植物調査主査。鶴岡八幡宮大イチョウ倒伏の再生統括監修。国分寺市農業委員、三鷹市・武蔵野市・江戸川区の文化財保護審議委員。著書は世界の巨樹と絶景の森、イチョウの絵本、大人の園芸「庭木・花木・果樹」、葉っぱで覚える樹木、他。



ヒマラヤスギ植栽地…自然樹形に近い姿のヒマラヤスギと整形的なツツジ類の配植による役所の前庭植栽、自然形と整形が調和している



ヒマラヤスギ根系…台風によって倒れたヒマラヤスギの根元付近まで舗装された狭い植え枠のため地上の樹体に対して根系が小さくなっている

ヒマラヤスギ (*Cedrus deodara*) は、良く知られている外国産の針葉樹である。公園や学校、公共施設、工場、ゴルフ場などに植えられたものを普通に見ることができる。深い緑色をした針葉樹特有の大きな樹形は、都市の中でも容易に認識することができる。かつては、お屋敷といわれる広い敷地の邸宅にも植えられ、その樹形は邸宅に相応しい落ち着いた重厚な雰囲気を醸し出していた。近年、個人邸でヒマラヤスギを見ることは少なくなった。

ヒマラヤスギは、ヒマラヤ北西部、アフガニスタンなどの温帯の山地、海拔1,100~4,000mに自生している。原産地では普通、樹高20~30m、直径0.8~1m、であるが、大きいものは樹高50m、直径3mに達する。樹幹は直立し、樹冠上部の枝は斜上から水平で、下部の枝は下垂する。下枝はよく残り、下枝の広い円錐形の端整な樹形はかなり遠方からも視認することができる。ヒマラヤスギの仲間には、レバノンシーダー (*C.libani*)、アトラスシーダー (*C.atlantica*) があるが、日本ではヒマラヤスギが最も旺盛な生育をする。

属名の *Cedrus* は、古代ギリシャ語の「樹脂のある樹」で、香料などに用いるという意味の *Kedros* に由来するという説がある。一般には「香りの良い材の木」の意味とされている。エジプトでは *Cedrus* の意味として「死より生」とされている。ミイラを保存するのにシーダー油、棺にシーダー材を用いたことが知られている。種名の *deodara* は、インドのヒンディー語で神の樹という意味とされている。インドでは貴重な薬木とされ多くの伝説や口伝がある。



ヒマラヤスギ樹形：通直な樹幹と水平的な枝による端整なヒマラヤスギの樹形、下垂する下枝は芝生への日射と歩行者への配慮で剪定されている

ヒマラヤスギが、わが国に入ったのは明治12年頃といわれている。横浜在住の英国人がインドより種子を取り寄せて播種した苗木が広まったという説、また、明治12年にアメリカのグラント大統領が来日したときに植樹したものが日本に輸入した第一号という説もある。いずれにしても140年前にわが国で生活を始めた樹木である。

ヒマラヤスギは緑化木として様々な緑地に植栽されているが、風に弱くよく倒れるといわれている。倒れたヒマラヤスギの生育地には、いくつかの共通点がみられる。まず切り土造成などによって現れた硬い地盤の植栽地に植えられたものである。これらの根系は地表近くに浅く分布し皿状である。大きく成長しているヒマラヤスギでも風で倒れないものもある。これらの生育地は、肥沃な深層土であり根が深く伸長することができる土壤環境である。筆者が通った小学校にも樹齢70年以上のヒマラヤスギがあるが、健全に生育している。土壤の良いところに植えれば風で倒れないことを実感している。ヒマラヤスギは土地を選ばずに生育することから、根系の変化に気がつき難い。また、根系が深く伸長しても土壤が軽い土地や、雨などにより土壤が緩みやすい時にも樹体を支持できずに倒れる。また根元付近まで舗装された小さな植え枠の場合には、根系が傷むことで支持力を失うことが多い。

ヒマラヤスギは、土地を選ばず旺盛な成長をする樹木であるが、土壤環境を十分に把握することで長期にわたり緑化の目的を達成する樹木である。

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

**TEATIME**

**蜂～始○物語②巣箱**  
(はちからはじまるものがたり)

友 友 (蜂蜜処・井上園)

「日本みつばち」の住環境は、閉鎖空間での巣営がほとんどです。通常ウロウロになった樹木の中や石垣の裏側、お墓のカルトの中・屋根裏等です。現代、里山・田園地域よりも都市部の方が部屋探し選択肢が多く、住みやすいかもしれません。

巣箱は、丸太をくりぬいた「丸胴」「ごうら」や四角の底無し枠を重ねた「重箱」、日本蜜蜂用の巣礎枠を入れた西洋ミツバチ用の巣箱と様々です。日本全国その地域や人によって色々な巣箱があり、形態・寸法がそれぞれ違います。個々の工夫やアイデアが満載



キンリョウヘンに誘われて「入居」

で、興味深く又面白いです…。(ネット等で購入も可能だが、住んでいたりく家を蜂さんの生活を想像しながら製作も楽しいものです。)

同じ作物でも、地域や人によって条間・株間が違います。狭めた方が伸びが良かたり、広い方が風で揺れて太りが良いとか…色々試すのも植木生産の面白さかもしれません。

私は、家の周りで重箱型を設置していますが、蜂群を捕獲するための「待箱」(重箱より高さが低い)を蜜蜂が巣営を好みそうな場所に置き「分蜂群」を誘い込もうと企んでいます。蜂目線で場所を吟味し、運よく捕獲出来た時は、(狩猟的な要素が多く)感動や充実感があり、この上なく嬉しい瞬間です。(鉄道マニアに「乗り鉄」「撮り鉄」などがいるように、捕獲大好き人間がいて「採蜜」をあまりしない人がいます…人間様々・人生いろいろ…)

井上友二 植木処・井上園(神奈川)



シリーズ 協会各委員会紹介

第3弾

# 広報・編集小委員会

広報・編集小委員会の委員は、それぞれが協会委員会の重要ポストについています。ですから企画で各委員会の情報が集結できます。主な会議内容は、この緑化通信の企画と、ホームページの維持管理などを行っています。緑化通信は全カラー版で発行部数は約1,000部で、会員や、緑化関係の官公庁や団体に配布しています。発行スケジュールは1/25、2/25、4/25、6/25、8/25、10/25、12/25の年7回です。

「緑化通信」が各社園に届いても机の上に置きっぱなしでは意味がない。新聞の様に届いたらすぐ読んでもらえるよう会議では四苦八苦して企画し、会員に有意義な情報が届くよう努めています。

最近の一番の人気コーナーは、「ティータイム」のようです。反響もなかなかのようだAさんがそんな趣味持つてたんだ?! そんなこともしてたんだ?!等。最近は事務局にも全国から各社園さんの情報も集まっています。

「将来を担う学校紹介」では、委員自らが学校に出向いて依頼し、高校生の頑張りを紹介しています。将来、これらの学生と一緒に仕事が出来ることを期待しております。

最後にお礼を述べさせていただきます。

「皆さん、お忙しい中、いつも緑化通信のご執筆本当にありがとうございます。今後、緑化通信、ホームページにこんな情報掲載して欲しいなどございましたら、ご連絡くださいますようお願い致します」。



## 委員を紹介

(右手前から)

**牛嶋委員** 編集小委員長 「ティータイム」の立案者。いつも問題意識を持ち、色々なアイディアを出してくれます。

**横田委員** 青年部担当理事も兼務しており、青年部の浅井委員の意見もフォローしてくれるお父さん的な存在。

**森本委員** ぱそっと遠慮気味に、皆がうっかり気付かない点を指摘してくれる大切な存在。

**菅原委員** いつも斬新な意見を言ってくれる、委員会のムードメーカー。

(左手前から)

**溝口委員** 「学校紹介」では、一番多くの学校に依頼して緑化通信に貢献してくれています。

**森田委員** 会議中、曖昧な点は直ぐに確認して、適切な意見を言ってくれます。「ティータイム」も書いてくれました。

**秋山委員** 広報委員長 以前からの広報委員会の内容も把握していて、皆の意見をまとめてくれます。

**浅井委員** ダントツ若い青年部員。はにかみながらも若者の意見を言ってくれます。



## 特集 竹はポピュラー、なれど不思議な植物 ⑥

### 竹の開花枯死は怖い! やがて、ハチク系が一斉開花か? 渡邊政俊

竹が開花すると、普通枯れてしまうことから、「不吉なことが起こる前兆ではないか」といわれ、また「一生のうちに一度見られるか、見られないか」という珍しい現象でもあることから、竹にかかわる人々にとってはとても怖い現象である。

表1 川村(1913)が発表したハチクの開花年代表  
(川村清一: 植物学雑誌25巻294号、明治44年; 1911より)

弘仁4年	(813) 前後	日本紀略による
承平元年	↓ この間118年	
寶治元年	(931) 前後	扶桑略記による
寛文6年	↓ この間316年	
天明6年	(1247) 前後	類聚大補任による
嘉永元年	↓ この間419年	
明治41年	(1666) 前後	本草辨疑による
	↓ この間120年	
	(1786) 前後	五穀無尽藏による
	↓ この間60年	
	(1847) 前後 (関西地方)	中澤廣江氏その他による
	↓ この間60年	
	(1908) 前後	各地方庁調査による

注: タテ書き原表をヨコ書きにし、↓印を挿入したもの。

が出現したことから、それ以降の竹産業界は衰退の一途を辿る結果を招いたのであった。

さて、ここでハチク系統の開花についてご紹介したい。このハチク系統といふのは、わが国の有用竹類の一種に位置付けられるハチクのみならず、ハチクから変異して竹稈が真っ黒になるクロチク、また竹稈に雲紋が現れるウンモンチクなどを指す。これらは観賞用として植栽されることから、不安を覚えられる読者も少なくないのではなかろうか。

ところで、竹類の開花は「一般に、一定の周期をもって起こる生理的な現象であり、マダケについては、おおむね120年を周期に起こることが知られている。そこで、ハチクの一斉開花についてみると、明治時代には開花病、自然枯

病、また開花回復に10年も掛かることから十年枯病ともいわれ、実際にその一斉開花・枯死が起り、大きな打撃を受けたと坪井(1913)が著述している。そして、川村(1911)は弘仁4年(813)から明治41年(1908)までの間の開花記録を詳細に調査したハチクの開花年代表を示し(表1)、開花周期は60年あるいはその倍率で起こると論じた。

そこで筆者は、ハチクはマダケ属の一種であるから、その開花周期もマダケと同様に120年と想定し、川村の開花調査記録(813~1908年間)の1095年を120年で除してみたところ、約9の値を得た。すなわち、ハチクは過去120年周期で9回の一斉開花が起ったのではないかと推測できる値を得たのであった。さらに、川村の表示によると、最終開花は明治41年(1908)となっていることから、ハチクの開花周期を120年と推定した場合の次期の開花ピークは2028年と推察できるのである。

ところで、筆者がハチクの開花現象を目にしたのは、2008年であった(写真1)。しかも、その頃から国内各地からハチクの開花が報じられるようになってきた。近年、筆者は岐阜県、滋賀県、京都府などで開花枯死を確認し(写真2)、またクロチクについても「庭に植栽したクロチクが開花した」との情報は少なくない(写真3)。このことから、先に推測した一斉開花がいよいよ近付いているのではないかと思いつく、「最近みられるハチクの開花は、一斉開花の前兆か?」という拙文を執筆(渡邊 2017)した。

一方、京都大学大学院の若手竹研究会によると、岐阜、静岡、京都、兵庫、香川などの各府県にハチクの開花が100箇所以上もあることである。これらの情報から、ハチク系の竹類がもしかして一斉開花に向かっているのではないかと推察し、関係者にひろく留意を促したいのである。さらに、ハチクの開花枯死からの回復過程がまだ明らかでないことから、筆者の推定が現実にならないことを祈りながらも、その対策が気になつて仕方ないこの頃である。

## 文献

- 坪井伊助 (1913)  
実験竹林造成法. 須原屋書店  
川村清一 (1911)  
植物学雑誌25巻294号  
渡邊政俊 (2017)  
竹. 133号. 竹文化振興協会

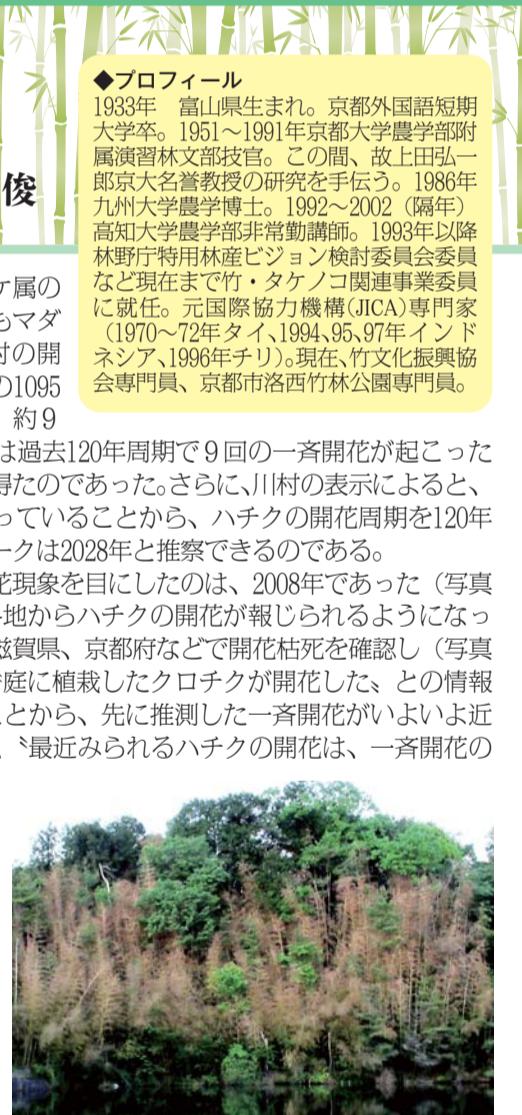


写真2 ハチクの一斉開花枯死  
(滋賀県大津市・小林慧人氏撮影)



写真3 クロチクの開花 (小林慧人氏提供)



写真1 京都市近郊のマダケとハチクの混生竹林におけるハチクの開花枯死



## お知らせ

## コンテナ部会 国内研修会のご案内

開催 2019年7月11日(木)~7月12日(金)  
 集合場所 福岡空港  
 観察先 熊本県球磨郡(有)石松樹苗園等  
 熊本県熊本市(有)芳坂樹苗園、(有)熊本緑化センター等  
 ※観察先は変更になる可能性があります。  
 費用 30,000円/人程度 解散場所 福岡空港

## 「環境緑化樹木識別検定試験」実施のお知らせ

環境緑化樹木識別検定試験は、みどり豊かな環境形成に重要な樹木100種類の名前を正しく識別する検定です。

日時・場所  
 ①東京試験会場 東京農業大学1号館241教室  
 2019年7月6日(土) 13:00~  
 東京都世田谷区桜丘1-1-1  
 ②福岡試験会場 福岡県緑化センター  
 2019年7月13日(土) 13:00~  
 福岡県久留米市主丸町益生田1125  
 受験料 一般:8,000円、学生:4,000円  
 申込締切 東京試験会場:6月21日(金)  
 福岡試験会場:6月28日(金)  
 ※造園CPDプログラム認定申請中  
 問合せ 協会事務局 木谷 03-3586-7361

## 令和元年度 都道府県別供給可能量調査 開始案内

協会事業である都道府県別供給可能量調査を実施します。全支部の提出に向け協力をお願いします。  
 調査期間:2019年7月1日(月)~7月31日(水)  
 ※6月下旬に入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部のIT委員にお送りします。  
 ※調査結果は官公庁及び造園関係団体にCD配布し、協会ホームページでも公開し、材料調達時の参考にしていただいている。

## 令和元年度 社園別生産数量調査 開始案内

協会事業である社園別生産数量調査を実施しますので、全社園様の提出に向け協力をお願いします。  
 調査期間:2019年6月25日(火)~7月20日(土)  
 ①協会ホームページの会員ページにログインし、IDとパスワードを入力し、社園別生産数量調査入力用システムをダウンロードします。  
 ②データを入力します。  
 ③データ入力完了後アップロード送信します。  
 ※詳細については別紙「入力マニュアル」を同封しますのでご確認願います。

## 生産数量調査代行入力について

生産数量調査について、エイコスに代行入力をお願いすることも可能です。代行入力は有償となっており、料金の目安は66円/件、及び結果資料の送付料金等となります。希望される方は、下記に電話又はメールをしていただければ、作業詳細書及び入力シートが送付されます。

エイコス 大畠 寿裕  
 (Tel)045-309-0018 (Mail)sp\_ohata@daiary.ocn.ne.jp  
 ①入力シートをお送りしますので記入していただき、返送願います。  
 ②入力シートから見積書をお送りします。  
 ③了承いただいてから作業に入り、入力結果をお送りします。  
 ④了承して頂いた結果を調査入力結果とします。

## 植生アドバイザー育成講座 受講生募集

講座は全3コースで構成されており、1年目は「A 植生調査コース」、2年目は「B 植生景観調査コース」、3年目は「C 植生復元・モニタリングコース」と、1年ごと段階を踏んで受講していただくことで、植生学の基礎～植生調査手法～データの分析と植栽計画の立案～植栽とモニタリングを体系的に修得できるカリキュラムが組まれています。本講座はその優れた内容が評価され、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されています。

日 時: 2019年8月31日(土)~9月3日(火)  
 内 容:  
 「A 植生調査コース」: 植生学の基礎、日本の植生、植生調査方法、野外実習、データ整理と解析  
 「B 植生景観調査コース」: 植生景観の基礎、植生景観調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修復計画  
 「C 植生復元・モニタリングコース」: 生態学的緑化方法、植生景観計画に基づいた植栽計画、植生景観に基づく緑化工法事例  
 講 師: 植生学の専門家の先生方で実施いたします。  
 開催場所: なかのビレジ(群馬県利根郡川場村中野626)  
 受 講 料: 協会員55,000円  
 協会員以外63,000円(6月30日までの早期お申込みの方は58,000円)  
 (受講料は税込価格、研修費・宿泊費等を含みます)  
 問合せ: 協会事務局 佐藤 03-3586-7361

第35回 花卉懇談会セミナー  
 誰でも使える花き園芸の情報技術  
 ~生産・流通利用への可能性~

開催日時: 2019年7月27日(土) 13:00~19:00  
 開催場所: 東京農業大学 世田谷

講演: ①施設園芸生産のスマート化  
 ②スイートピー栽培におけるICT活用と生産情報活用の可能性  
 ③島根発!「あい・しい・てい」で独自花きの売り上げUP  
 ④総合ディスカッション  
 参加費: 各時間により(5,000円~10,000円)  
 締切り: 7月13日(土)  
 問合せ: 花卉懇談会 site: http://kakikon 2015.jimdo.com/ e-mail: kakikondankai@gmail.com

## 秋の視察研修会(岡山・香川)栗林公園 日本列島植木植物園運営委員会

日時 2019年9月25日(水)~26日(木)  
 場所 岡山・香川県方面(視察圃場園は予定)  
 9/25 (株)清光園芸、栗林公園視察  
 9/26 (有)半田植物園、(株)山地緑化センター、番の州公園(みどりの香るまちづくり受賞公園)  
 集合 9/25 13時 (株)清光園芸  
 解散 9/26 14時頃 JR岡山駅(高松駅可)  
 参加費 3,000円(保険料、入場料等含む)  
 夕食・懇談会と宿泊費: 19,000円程度/一人  
 宿泊先 新樺川観光ホテル(香川県)基本4人部屋  
 締切り 2019年9月10日(火)(最低15名決行)  
 問合せ 協会事務局まで 03-3586-7361  
 ※詳細は視察ご案内(申込み書)別紙同封

## 会員動向

## 協会・退会

(有)竹原松寿園 (熊本県)

## 代表者変更

(株)湘南園(神奈川県)

新 内野良徳 旧 内野宗一

## メールアドレス

(有)森川園芸(千葉県) blueleaf@morikawa-nursery.co.jp  
 (株)石井植木(神奈川県) ishiueki@yahoo.ne.jp  
 (株)石井農園(神奈川県) info@ishiinouen.jp  
 (株)尾上園(神奈川県) onoue@bg.wakwak.com  
 (株)高橋緑化園(神奈川県) takahashi@ryokka.com  
 (有)芳坂樹苗園(熊本県) yoshizaka.z@purple.plala.or.jp

## 訃報

宮崎ウメノ様(宮崎文雄氏のご母堂様)

(有)盛宏園緑化(福岡県)

平成31年4月17日没 享年90歳

竹内慶二郎様(竹内好和氏のご尊父様)

竹内園芸(静岡県)

令和元年5月15日没 享年91歳

伊藤 宏 様(協会員)

(有)伊藤農園(千葉県)

令和元年6月11日没 享年77歳



おかげさまで  
 皆様とともに  
 100年  
 創業 大正8年

造園材料販売 造園設計施工

 生駒植木株式会社

代表取締役 生駒 順

〒244-0004 横浜市戸塚区小雀町1805  
 TEL.045-851-1805 FAX.045-852-6068  
 E-mail: matsu-tora@ikoma-ueki.co.jp  
 http://www.ikoma-ueki.co.jp